

「ふくすいき

令和6年5月号

～福水企～」通信



企業団キャラクター
ピュータくん

この「ふくすいき～福水企～」通信は、福岡地区水道企業団、各構成団体などの情報交換のために毎月発行しています。

発行：福岡地区水道企業団 総務課
福岡市南区清水四丁目 3-1
TEL 092-552-1731(代)

■ 企業団・構成団体の動き

●九州地区水道企業団協議会第39回総会【出席しました】〔4/18(木)・19(金) 上天草市〕

九州地区の水道企業団等から50名が出席し、九州地区水道企業団協議会の総会（開催地事務局：上天草・宇城水道企業団）が開催されました。当企業団からは、なごやますゆき名古屋泰之 企業長ほか職員4名が出席しました。

4月18日の総会では、特別会員の承認について、令和5年度決算・令和6年度予算等の議題のほか、会員提出問題の審議が行われ、「水利権制度の柔軟な運用について」の1項目が全国水道企業団協議会総会に提出されることになりました。

その後、宇土市教育委員会文化課のおおなみかずや大浪 和弥 氏から「国内現役最古の上水道・轟泉水道について」をテーマに講演がありました。

また、総会翌日の19日には、轟水源等を視察しました。

<総務課 岸>



総会の様子

●採水実務研修会【開催しました】〔4/23(火) 水質センター〕

当企業団水質センターにおいて、構成団体の水質検査での採水担当者を対象にした採水実務研修会を開催しました。13団体38名にご参加いただき、水質基準項目等についての講義と、数名ずつに分かれての採水実習を行いました。また、希望者のみ、研修会の前後でカビ臭に関する臭気研修と水質センターの施設見学を行いました。

採水は決して簡単な業務ではありません。採水容器は検査項目によって異なり、19種類に及びます。さらに採水時には、満水にするものやしないもの、共洗い（採水する水ですすぐ）するものやしないもの等、採水方法が異なります。その他にも、採水時には気を付けていただくことが多く、参加者の皆さまは、大変熱心に参加されていました。

正確な結果を得るためには正しい採水が不可欠です。今回の研修を活かして、採水担当者の皆さまと連携して適正な検査に努めます。

<水質センター 松岡>



講義の様子



採水実習の様子

●第 66 回水道週間の取り組みについて〔6/1（土）～6/7（金）〕

水道週間は、国土交通省、地方公共団体の水道事業者等によって実施される様々な広報活動等の運動を通して、国民に対して、水道の現状や課題について理解を深め、今後の水道事業の取り組みについて協力を得ることを目的として、毎年6月1日から1週間実施されています。

第 66 回 **水道週間**〔令和 6 年6月1日（土）～ 6月7日（金）〕 水道週間スローガン「**たいせつに みずはみんなの たからもの**」

当企業団では、啓発活動の一環として自動車へのステッカー掲示やのぼり旗の掲示を予定していますが、各構成団体でも、水道週間に様々な取り組みが予定されています。

来月号では、構成団体の取組の様子をレポートする予定です。

<総務課 川中>

《 昨年度の取り組みの様子 》



【福岡市】：節水呼びかける
水道局公式アンバサダー中島浩二氏



【筑紫野市】：JR 二日市駅での PR の様子



【大野城市】：啓発ポスターの掲示



【古賀市】：啓発ポスターの掲示



【糸島市】：庁舎への垂れ幕設置

●福岡地区水道企業団渇水対策本部を解散しました〔4/24（水）〕

当企業団におきましては、筑後川流域の異常少雨により筑後川水系ダム（江川ダム・寺内ダム・小石原川ダム・筑後大堰・合所ダム・大山ダムの6つのダム）の貯水率が減少の一途をたどる中、令和6年2月16日に「福岡地区水道企業団 渇水対策本部」を設置し、構成団体及び関係機関と連携しながら渇水対策を講じてまいりました。

しかし、2月下旬以降の降雨により、ダムの貯水率が一定程度まで回復したことを踏まえ、4月24日（水）17時に渇水対策本部を解散することとしました。

なお、今後も引き続き筑後川流域の降雨状況を注視するとともに、構成団体及び関係機関と連携を図りながら、水道用水の安定供給に努めてまいります。

<総務課 秦>

■ 水源地域との交流事業

実施レポート

● 第 57 回津江山系釈迦連峰山開き〔4/28（日）大分県日田市前津江町〕

日田市前津江村の「スノーピーク奥日田キャンプフィールド（旧椿ヶ花ハイランドパーク）」にて、第 57 回津江山系釈迦連峰山開きが、山祭会議の主催により開催されました。

当日は、^{むくの みちこ} 椋野 美智子 日田市長や、大分県議会議員、日田市議会議長、当企業団から名古屋企業長以下 4 名の職員のほか、地元の方々や登山者など、多くの方が来場されました。

山開きは、藤蔭高等学校吹奏楽部による華やかな演奏によるオープニングに始まり、山の安全を祈願する神事が行われ、式典では椋野市長をはじめ来賓の方々から、「この地域が筑後川の水源であり、水源を守ることの重要性を知っていただき、自然豊かな前津江に多くの人に来ていただきたい」などの挨拶がありました。

当日は、藤蔭高等学校吹奏楽部の演奏や綾垣里穂さんのステージなどのイベントのほか、BBQ コーナー・饅頭・焼きそば・地鶏焼きなど、多くの飲食ブースや地元野菜販売の出店がありました。

また、〇×クイズ大会、お楽しみ抽選会や綱引き大会など、来場者参加型の催し物も開催され、会場は大変盛り上がり、楽しい 1 日となりました。

<総務課 川中>



オープニングは藤蔭高校吹奏楽による演奏



山の安全を祈願する神事の様子



企業長による万歳三唱



餅まきの様子

5月、6月の予定

●令和6年度江川水源祭【参加します】〔6/1(土)朝倉市江川ダム〕

朝倉市の江川ダムにおいて「江川水源祭」が開催されます。

江川ダムは、福岡都市圏の大切な水源のひとつであり、水源祭はこのダムに協力された方々へ感謝の意を表するとともに、施設の安全と今年の豊水を祈念いたします。

当日は、清酒注ぎの式を実施する予定で、朝倉市長をはじめ、当企業団及び水道関係機関の代表者などが参加の予定です。

日 程	令和6年6月1日(土)
開催場所	江川ダム堤体
主催	江川水源祭実行委員会(朝倉市、両筑土地改良区、福岡市水道局、独立行政法人水資源機構、福岡地区水道企業団)



新緑の江川ダム



清酒注ぎの儀(令和5年度)

●エツ漁解禁とエツ感謝祭〔5/1(水)~7/20(土)久留米市城島町〕

(公益財団法人久留米観光コンベンション国際交流協会から情報提供いただきました)

エツは、カタクチイワシ科の魚で、国内では有明海にのみ生息し、初夏にかけて筑後川を遡上し淡水と海水が混じり合う汽水域で産卵します。城島地域は河口から15kmほど上流で、ちょうど汽水域になります。希少な魚であるため、漁の解禁は5月1日~7月20日と決められています。

このエツ漁解禁に伴い、豊漁と漁の安全を祈願する感謝祭が、5月1日に開催されます。

小旗をはためかせ、小舟がエツ漁を行う風景は、初夏の風物詩となっており、獲れたての城島のエツ料理は絶品です。

この時期にだけ味わうことができる貴重な郷土料理を、地酒とともにぜひ味わってみてください。

日 時	令和6年5月1日(水) 10:00~ エツ感謝祭
開催場所	エツ大師堂(久留米市城島町上青木313-1)
問い合わせ先	エツ感謝祭実行委員会(久留米南部商工会内) TEL 0942-64-3649



エツ



エツ漁の様子

※ エツの言い伝え

昔、旅の僧侶（弘法大師）が筑後川を渡れずに困っているのを見て、川辺の貧しい漁師が親切に対岸まで渡してあげました。僧がお礼にヨシの葉を川面に投げこむと、それがエツになったそうです。城島町では、「エツ大師堂」を建てて、弘法大師を手厚く祀り、エツの恵みに感謝をしています。

● ^{みのうれんざん}耳納連山山開き〔5/19（日）久留米市田主丸町 ^{たかとりやま}鷹取山山頂〕

（公益財団法人久留米観光コンベンション国際交流協会から情報提供いただきました）

毎年5月第3日曜日に、久留米市で一番高い「鷹取山」山頂（標高802m）で耳納連山山開きが開催され、山の安全祈願式典が行われます。

ご参加の方に記念の手ぬぐいが進呈されます。ふるってご参加ください。（徒歩で登山の方で先着順、数に限りあり。）

山頂からの眺めは絶景です。



安全祈願式典の様子

日 時 令和6年5月19日（日）
11:00～ 安全祈願式典
※ 雨天決行

開催場所 久留米市田主丸町 鷹取山山頂

問い合わせ先 公益財団法人久留米観光コンベンション国際交流協会
田主丸事務所 TEL 0943-72-4956

●第77回日田川開き観光祭〔5/25（土）・26（日）大分県日田市〕

（日田市から情報提供いただきました）

水郷日田に初夏の訪れを告げる「日田川開き観光祭」。

筑後川水系の鮎漁解禁と鵜飼いシーズンの幕開けに併せて行われるこのお祭りは、毎年7万人を超える多くの観光客でにぎわいます。

メインイベントの花火大会は2夜連続で行われ、約10,000発の花火が夜空を彩ります。

また、花火大会以外にも『音楽大パレード』では市内小中高生総勢1,200名によるパレード隊が、『水郷日田どんたくカーニバル』では今年も趣向を凝らした衣装で日田市民が総出のカーニバルを繰り広げ、祭りを盛り上げます。

ひと足早い初夏の訪れを楽しんでみませんか。

日 時 令和6年5月25日（土）・26日（日）
開催場所 大分県日田市一円・三隈川河畔
問い合わせ先 日田市観光課 TEL 0973-22-8210



●山田堰通水式〔6/17（月）朝倉市水神社〕

（朝倉市から情報提供いただきました）

山田堰は、石張りによる斜め堰で、筑後川から取水し、約650haもの水田に導流させるための建造物です。

「堀川用水」は、山田堰から取水した水を農地に送るための農業用水路で、本線約11kmにも及びます。

また、日本最古の実働する水車として全国的にも有名な「朝倉の揚水車群」は、現在「三連水車」1基と「二連水車」2基が稼働しており、かんがい面積は合計約35haになります。回る水車は、6月17日～10月上旬だけ見ることができます。

「堀川用水の上流一部」と「朝倉の揚水車群」は、平成2年に国の史跡に指定されました。

当日は、水神社で神事が行われ、その後、境内下にある水門が開門します。15分ほどかけて約2km離れた水車群に水が到達し、夏の風物詩である朝倉の揚水車群が回り始めます。

水神社で行われる山田堰通水式は、どなたでも見学できます。ぜひお越しください。

日 時 令和6年6月17日（月）9:30～（予定）
開催場所 水神社（朝倉市山田161）
問い合わせ先 山田堰土地改良区 TEL 0946-52-0531



山田堰



三連水車

水 源 情 報

企業団ホームページの「水源情報」は、毎日（土日祝を除く。）最新情報に更新しています。

福水企

検索

アドレスをクリックすると、
【水源情報】が載っています
ので、見てね！！



・企業団ホームページ「水源情報」アドレス

<https://www.f-suiki.or.jp/waterquality-info/water-info/>



編 集 後 記

桜は散って新緑になり、いろいろな花が町のあちこちで咲き始めました。ゴールデンウィークが到来したので、直方市にある「福智山ろく花公園」を訪ねました。

福智山の麓にある緑に囲まれた花公園で、訪問した5月3日は「初夏の花祭り」が開催されており、花畑に広がったネモフィラやポピーの花壇が、多くの家族連れを楽しませていました。

また、白い花を拡げたオオデマリが美しく目を引きました。

古くから美しい女性の容姿や立ち居振る舞いを表現する「立てばしゃくやく 座ればほたん 歩く姿は百合の花」という言葉は有名です。

この公園でシャクヤクの花を見て、すらりと伸びた茎の先端に華麗な花を咲かせている様は、まさに浮世絵の美人画を思わせる美しさだと納得しました。

このような自然に囲まれた環境で最も大切なのが、清らかな『水』であり、この公園でも美しい流れが園内の随所で見受けられました。あらためて『水』のありがたみを痛感した一日でした。<川>



福智山ろく花公園



ネモフィラの手前がポピーの花壇



白い花を拡げたオオデマリの木



華麗に咲くシャクヤクの花



清らかな『水』の流れ

★ 構成団体の皆さまからの情報をお待ちしています！！

「ふくすいき～福水企～」通信では、今後も構成団体の皆さまの声や意見を掲載していきたいと思っています。

皆さまの周りでも、お知らせしたいことや紹介したい取り組み、イベント情報、また感想、ご意見などありましたら、ぜひ、ご連絡ください！！

よろしくお願ひします。

たくさんの情報提供を
お待ちしております！！



～ 情報を提供していただく場合 ～

掲載希望前月の末日までに、原稿を下記へメール送信してください
福岡地区水道企業団総務課企画広報係 kouhou@f-suiki.or.jp

福岡地区水道企業団では、企業団ホームページや SNS〔X（旧 Twitter）、Facebook ページ〕を通じて、企業団が行う事業や取り組み、水源地域や流域で行われるイベント等をわかりやすくタイムリーに情報発信しています。

ホームページの記事や SNS で発信した情報について、面白い、役に立ったなどと思われた方は、ぜひ、SNS の機能（リツイートやシェアなど）を使って、多くの方に情報を届けていただければ幸いです。

福岡地区水道企業団 HP

<https://www.f-suiki.or.jp/>

福水企

検索



福岡地区水道企業団 X (旧 Twitter)

福岡地区水道企業団



福岡地区水道企業団 Facebook ページ

福岡地区水道企業団



福岡地区水道企業団 YouTube ページ



福岡地区水道企業団



福岡地区設立 50 周年記念事業関係 HP, SNS

50 周年記念誌ホームページ



50 周年アーカイブス

